ふりかえりシートまとめ

（実施日：2026 年 9 月 29 日）

1）今日のワークショップについて、気づいたこと、言い残したことはございませんか？

- メンバーの話をもっと知りたい。教えてほしい事あります。
- これから宜しくお願い致します。
- 自己紹介の時間がたっぷりあり良かった。シールはりの作業で一体感ができて良かった。
- 紫波町の現実をつきつけられショックです。町に要望を次々に出しにくくなるのでは。
- 川東、川西は高齢化率が高く、同じ感じと大ざっぱにとらえていたが、細かく見てみると全然ちがうことがわかった。
- 思っていた以上に高齢化を数字を通して知ることができました。
- 市民と町が手を取り合える環境がこの場なのかなと感じた
- ワークショップがどのような活動かわからず、多少心配だったが、全体感がつかめてきた気がした。
- 進め方として、楽しめる場があって良かった。
- 町内5地区の中で、3世帯で住んでいる世帯がどの地区も多くないことに気付いた。世代間交流があれば、もっと町が活気付きそう。
- 言いたいこと→みんなまじめでおどろきました。
- 数字だけ見ると、大まかにしか傾向を理解できなかったが、シールを貼って視覚化することで、ぐたいてきな地域の特徴を知ることができ、おもしろいと思った。
- 座席について、今回は、役場職員と市民メンバーの方である程度かたまって座る形となったが、もっとバラバラに座ることで、空き時間の雑談等により、職員と市民メンバーがお互いを知るきっかけになるかもしれないと思った。
- 地区ごとの高齢化率や、18歳未満の同居世帯率を作業を通じて改めて様々な地区があることに気付いた。
- 現在の紫波町内の状況を改めて知る事が出来た。
- いまの紫波町の現状、これから考えていかなければならないことが分かりました。メンバーの雰囲気は良いと思います。
- 地区によって人口分布が大きく異なり、課題が異なっていると感じた。
- 後期高齢者が増えることは悪いような話があったがそんなこともないですよ。
- 難しい課題があると気付けた。気付けただけでも自分の糧になると思った。
- 各グループの座席について、職員と市民が会話しやすいような配置を指定しても良さそうだと感じました。（今回は、職員どうし、市民どうしが固まっている状態でした）
- それぞれ様々な視点を持つ市民メンバーの方に集まっていただき、とても楽しい話し合いになるな！と思いました。
- 地域によって人口減少の質（中身）が異なる。
- 市民参加の各人に名札が欲しいです。
- 地域の高齢化、人口減少の実態を知ることができた。

- 高齢化社会が一段と進み、人がいなくなる中で、どうようなまちづくりができるのか、自分事として考えていければ良いと感じた。
- 意外とみんな思っていることは同じ
- 人口減少について、理解できました。
- どうのような内容について話していくのか、イメージをもつことができた。
- 地域課題について見てわかるデータありがとうございました。話やすい雰囲気づくりだったと思います。
- 参加されているグループのみなさんの話をききながら、交流しながら、半年間がんばりたいと思いました。
- 長岡地区が思っていたよりマズいことになっているなと感じました。生まれ育った地区の未来を考えていきたいです。
- 何もわからないままの参加でしたが、楽しくお話できそうで安心しました。これからもよろしくお願いいたします。
- 総合計画について理解が深まりました。企画・運営ありがとうございます。
- 各セクションを広く取っていただけると話が聞きやすいと思います。内容はとても良かったと思います。
- 立場や年齢が様々で、今後の話し合いがとても楽しみだと感じました。
- よろしくお願いします。
- 1回目なので不安もありましたが、雰囲気良く終われたので少し安心しました。
- さいごまで、ついていきたいと思います。
- 後期高齢者そのものですが、知っている方も居るので、安心です。
- 高齢者代表として行こうと思います。”
- 紫波町の現状が知れて良かった。
- 地域により、少子化、人口減少がちがうことを知った事がよかった。
- ワークショップに参加してくださる市民の方々は、既にまちづくりに深く関わっていて、熱意がある方たちばかりだと感じました。
- 分布図作成を通して同じ地区でも地域の状況が大きく異なることが可視化されました。多様化する課題を考えていく必要があると感じました。
- 作業があると、まとまって動けた。座り順は、市民⇔職員でまとまるのと、交互になるのどちらが話しやすいでしょうか。
- 初回、どんな雰囲気だろうとドキドキしておりましたが、参加率がとても高くて、すごく良いスタートだなと感動しました。自己紹介で市民メンバーのみなさんの熱意のあるお言葉や町への愛着が感じられるお話を聞けて、改めてこの WS 大切さを感じました。データベースは念頭に置きながら、そこの生活するアクターが楽しく「ありたい姿を目指す」まちづくりをみんなで考えたいです。
- いろいろの説明を聞いて、参考になりました。
- 重大意識をもって、今後、進めていけたらと思っております。(区、公民館(自治)運営について)
- 特になかったですが、第1回目ということで色々な不安がありましたが、話しやすく、意見も言いやすい雰囲気だったので少し安心しました。これから、3月までグループでよりよいものを作っていけたらと思っております。

2)今後の地域づくりや、地域との関わり方について、何かあればご記入ください。

- 当地区で世代間交流が少なく、この点についてヒントを得たい。
- 高齢者と子供達の生活を守る町づくりをしていきたい。
- はて、人口減少や橋等の公共事業は、どうすれがいいのか？
- ゆる～く人と人がつながれる関係づくりが必要かな？と思っている。
- 異年齢の関わりが必要かなと思います。
- 高齢者の健康、体力づくりが大切
- どこの地区も高齢化率が高く、18才未満が0%もあり若返りが必要
- 地域の課題認識、解決につとめ、気持ちよくくらせる街づくりに貢献したい。
- 行政として、高齢化を止めることは出来ない。一方、移住者が入った際、地域の慣習になじめない方がいる。それが地域活動の少なさにつながるのでは。
- 5地区間でもっと交流があれば、各地区がかかえる問題、課題の解決につながるのではないかと思った。
- まだまだこれから
- 固定の地区だけではなく、5地区が全部が住みやい町になるよう対策を考える。人の流れが作れる、イベントなど
- 主に、商工の視点で地域づくりに携わっていきたいと思います。
- グループ内に町内、町外、様々な地区の方がおり、それぞれの立場からの視点や意見を共有しあえればいいなと思った。
- 地区にそれぞれ特徴があるため、それぞれの地区の特徴も含めた地域づくりが大切。
- 漠然と過ごしている日常では経験出来ないと思う。ワークショップに参加し、今後の紫波町は、もとより、自分自身のプラスにして行きたい。
- 空き家活用
- 積極的に関わります。
- 高齢化は仕方ない事だが、仕方ないですまされないと感じた。地域に合った地域作りが必要だがどう考え、どう動けばいいか全く今日の時点では思いつかなかった。
- 行政ができること、できないこと。地域でできること、できないことといった住み分けを考えていかないといけない。
- 専門的なメンバーがそろっている中でどれだけ意見として言語化できるように頑張りたい。
- 地域の子どもたちも交えて交流ができると良いと思います。
- 自分にできることは何かをそれぞれが考えれる機会をつくることが大事かと
- こういう機会を通じてよりよいまちづくりをしたい
- 下水関係で、かかわりたい。
- 「郷土を愛す」という部分を地域活動、お祭り等で子供達に伝えていきたいです。
- 様々な地域課題があることを改めて感じた。解決への糸口を見いだせるように、このワークショップをきっかけに考えていきたい。
- 地域住民としての視点、教員としての視点、保護者としての視点、多角的に意見できるようにがんばります。
- 興味本位で参加しましたが、もっと地域のことを自分ごととして考えていきたいと思いました。
- 責任重大だ～の気持ちがいっぱいです。学びながら考える機会にしたいです。

- 紫波町の各地域の取り組みを学びたい
- 次回以降のワークショップを楽しみにしています。話題は豊富にあると思います。
- 人口減少の中で、どのように住みやすい町をつくるか、広く主要な場所がはなれている紫波町で、これをどうつなげるか考えることが大切だと思っています。
- 十日市、古だて、高齢者がなかなかでてこない。これを外にでてもらうにはどうするかが、いつももやもやしています。何か良い案はないかなあー。
- 少しでもお役にたてれば良いかな。
- 今後、町内会、自治会の体制を変えていきたい。
- 現状(高齢化率、少子化はもちろんの事、財政的に行政に頼むのではなく、自分たちで出来る事は何か、できる事を増やしながら、地域の方々を動かし、前に進めたらと思っています。
- 今回の総合計画市民ワークショップを通し、地域づくり等の勉強もできたらと思います。

3)わかりにくかった点、心配な点があればご記入ください。

- 町・地区の世代の分布、特に高齢化率について(わかりやすかった)
- 色々な方とお話ができそうで楽しみです。
- 現時点では、力はないが、考える事は出来るのではと。
- 机がイスに対して、平狭でないか
- この WS に参加しているメンバーで、住んでいる地域にかたよりがあると、参加者の少ない地域にメリットの少ない総合計画にならないか心配である。
- 資料はあらかじめメール等データをいただければ助かります。
- 自分でつとまるか、何もわからないから不安。見当違いなことを発言するかもしれないが、そう思う市民がいると考えのすりあわせの一助になるといいと思った。
- 理想論の中に具体的な意見を落とし込めるか心配です。
- グループ内の発言が聞きとりにくい場面がありました。スペースに工夫があればうれしいかも？
- タイムキーパー必要そうだなと思いました！
- これから、いろいろ勉強して行きたい。心配事も心配事でなくなると思うので…今後共、宜しくお願い致します。
- 特になく、分かりやすく有意義なワークショップでした。